

令和4事業年度認可事業特別会計

特別保健福祉事業費勘定

財 産 目 録

貸 借 対 照 表

損 益 計 算 書

キャッシュ・フロー計算書

令和4事業年度認可事業特別会計 特別保健福祉事業費勘定財産目録

(令和5年3月31日現在)

資 産 の 部			
区 分	内 訳		金 額
	摘 要	金 額	
		千円	千円
流 動 資 産			1,190,141
現金及び預金			1,179,144
	普通預金	1,179,144	
未収特別事業助成費返還金			10,477
未収延滞金			520
固 定 資 産			2,531,887
有形固定資産			300
工具器具備品			3,002
減価償却累計額			△ 2,702
無形固定資産			2,531,587
ソフトウェア			993,538
ソフトウェア仮勘定			1,538,049
資 産 合 計			3,722,029

負 債 の 部			
区 分	内 訳		金 額
	摘 要	金 額	
流 動 負 債		千円	千円
未払特別事業助成費返還金			1,190,141
未 払 金			12,497
その他の未払金			1,170,852
	高齢者医療運営円滑化等 補助金精算返納金	4,209	6,792
	医療施設運営費等 補助金精算返納金	2,583	
負 債 合 計			1,190,141
差 引 正 味 財 産			2,531,887

令和4事業年度認可事業特別会計
特別保健福祉事業費勘定貸借対照表

(令和5年3月31日現在)

資 産 の 部			負 債 ・ 資 本 の 部		
区 分	注記 番号	金 額	区 分	注記 番号	金 額
(資産の部)		千円	(負債の部)		千円
I 流動資産			流動負債		
1 現金及び預金		1,179,144	1 未払特別事業 助成費返還金		12,497
2 未収特別事業 助成費返還金		10,477	2 未 払 金		1,170,852
3 未収延滞金		520	3 その他の未払金		6,792
流動資産合計		1,190,141	流動負債合計		1,190,141
II 固定資産			負債合計		1,190,141
1 有形固定資産			(資本の部)		
工具器具備品		3,002	利益剰余金		
減価償却累計額	△ 2,702	300	当期未処分利益		2,531,887
有形固定資産合計		300	利益剰余金合計		2,531,887
2 無形固定資産			資本合計		2,531,887
ソフトウェア		993,538			
ソフトウェア仮勘定		1,538,049			
無形固定資産合計		2,531,587			
固定資産合計		2,531,887			
資産合計		3,722,029	負債・資本合計		3,722,029

令和4事業年度認可事業特別会計
特別保健福祉事業費勘定損益計算書

(自 令和4年4月 1日)
(至 令和5年3月31日)

区 分	注記 番号	金 額	金 額
[経常損益の部]		千円	千円
(業務損益の部)			
I 業務収益			
1 高齢者医療制度円滑 運営事業費補助金収入		8,829	
2 高齢者医療運営円滑化 等補助金収入		1,113,853	
3 医療施設運営費等 補助金収入		98,824	1,221,506
II 業務費用			
1 高齢者医療運営円滑化等 補助金精算返納金		4,209	
2 医療施設運営費等 補助金精算返納金		2,583	
3 給与手当		1,830	
4 法定福利費		19	
5 租税公課		110,260	
6 減価償却費		240,902	
7 その他の業務費用	※1	8,026	367,830
業務利益			853,675
経常利益			853,675
[特別損益の部]			
特別損失			
固定資産除却損	※2	149	149
当期純利益			853,525
前期繰越利益			1,678,362
当期未処分利益			2,531,887

令和 4 事業年度認可事業特別会計
特別保健福祉事業費勘定キャッシュ・フロー計算書

(自 令和4年4月 1日)
(至 令和5年3月31日)

区 分	注記 番号	金 額
I 業務活動によるキャッシュ・フロー		千円
補助金収入		1,221,506
助成費補助金返還金収入		21,799
助成費補助金返納金支出		△ 20,299
補助金精算返納金支出		△ 6,792
人件費の支出		△ 1,850
その他の業務支出		△ 154,470
業務活動によるキャッシュ・フロー		1,059,893
II 投資活動によるキャッシュ・フロー		
無形固定資産の取得による支出		△ 1,094,577
投資活動によるキャッシュ・フロー		△ 1,094,577
III 財務活動によるキャッシュ・フロー		
財務活動によるキャッシュ・フロー		—
IV 現金及び現金同等物に係る換算差額		—
V 現金及び現金同等物の増減額		△ 34,683
VI 現金及び現金同等物の期首残高		1,213,827
VII 現金及び現金同等物の期末残高	※1	1,179,144

令和4事業年度認可事業特別会計
特別保健福祉事業費勘定利益処分計算書

(令和5年6月26日)

区 分	金 額
I 当期未処分利益	2,531,887,524 円
II 次期繰越利益	<u>2,531,887,524</u>

重要な会計方針

期 別	当会計期間
項 目	（自 令和4年4月 1日） （至 令和5年3月31日）
1. 固定資産の減価償却の方法 (1) 有形固定資産 (2) 無形固定資産	<p>定額法によっております。</p> <p>なお、主な耐用年数は、以下のとおりであります。</p> <p>工具器具備品 4～15年</p> <p>定額法によっております。</p> <p>なお、ソフトウェア（支払基金利用分）については、支払基金内における利用可能期間（5年）に基づく定額法によっております。</p>
2. キャッシュ・フロー計算書 における資金の範囲	<p>手許現金、要求払預金及び取得日から3ヶ月以内に満期日の到来する流動性の高い、容易に換金可能であり、かつ、価値の変動について僅少なりスクしか負わない短期的な投資からなっております。</p>
3. その他財務諸表作成のため の重要な事項 消費税等の会計処理	<p>消費税等の会計処理は税抜方式によっております。</p>

表示方法の変更

(損益計算書関係)

当会計期間 (自 令和4年4月 1日) (至 令和5年3月31日)
※1 前事業年度において独立掲記していた「業務費用」の「修繕費」(前事業年度25,437千円、当事業年度8,026千円)は、金額的重要性が乏しくなったため、当事業年度は「その他の業務費用」に含めて表示しております。

注記事項

(損益計算書関係)

当会計期間 (自 令和4年4月 1日) (至 令和5年3月31日)
※2 固定資産除却損の内容は、次のとおりであります。
千円
電話加入権 149
計 149

(キャッシュ・フロー計算書関係)

当会計期間末 (令和5年3月31日現在)
※1 現金及び現金同等物の期末残高と貸借対照表に掲載されている科目の金額との関係
現金及び預金 1,179,144 千円
現金及び現金同等物 1,179,144